

多様なモビリティを集結させた大規模交通結節点
『グリーン・マルチモビリティハブステーション・みなとみらい』



株式会社アットヨコハマ 山内 英志・東 昭人・文蔵 秀之・山下 寛由・根岸 祐介・磯江 諒亮・中村 美紀・加藤 樹璃

1. 背景と目的

横浜都心臨海部の主要な玄関口である横浜駅や桜木町駅から主要観光地（目的地）まで、徒歩15分以上かかる距離にある。



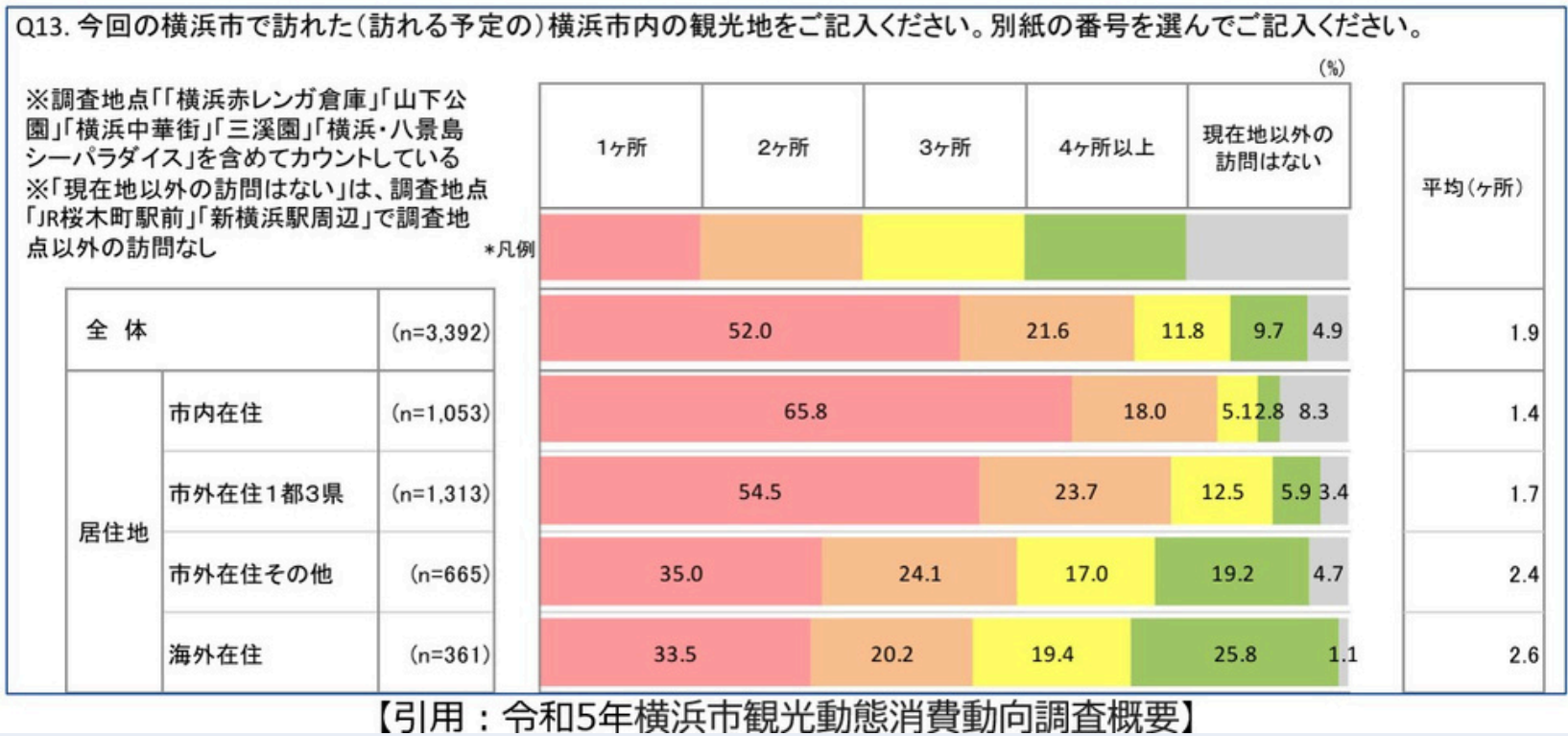
都心臨海部では、縦軸の移動（駅⇄観光地）と横軸の移動（水際線）が長年の課題であった。そのため、街に”多彩な交通”を充実させる施策を掲げ、モビリティの配備を行っていた。

STAY YOKOHAMAの取り組み

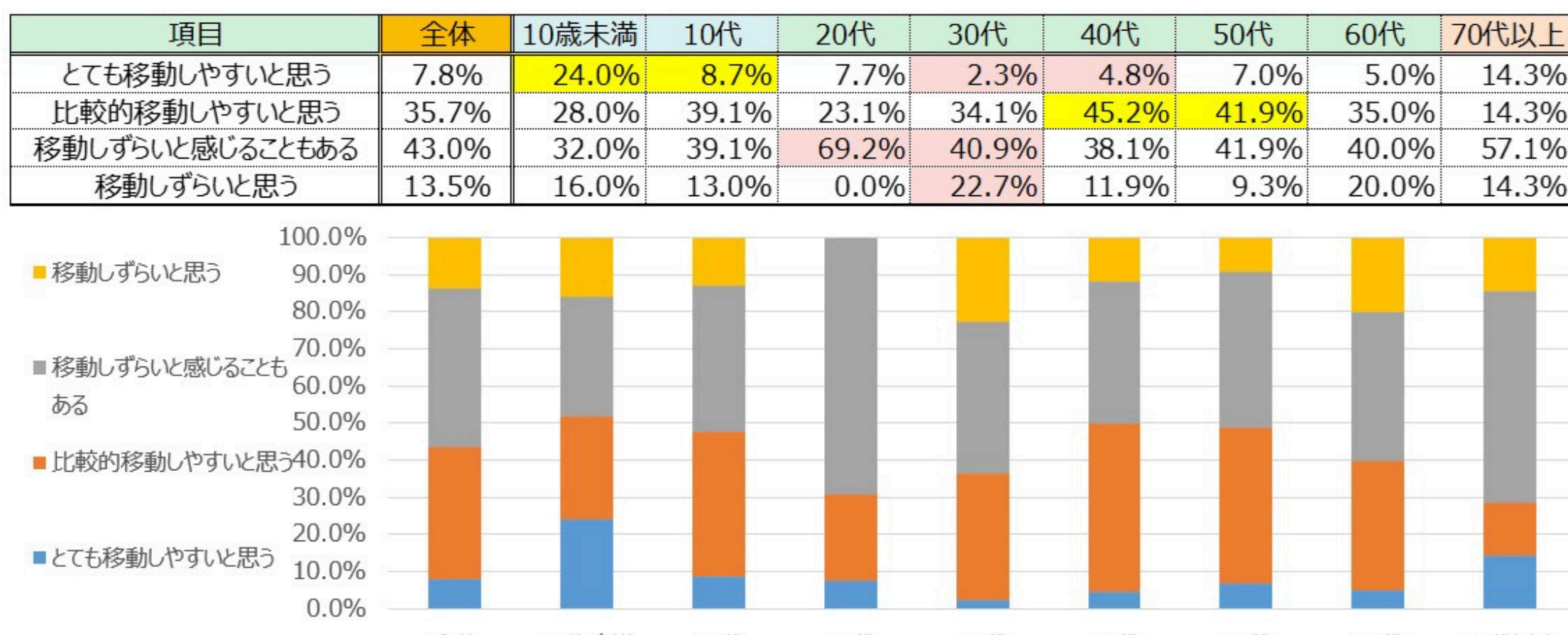
横浜は来街者の平均滞在箇所「1.9ヶ所」と、約52%の方が1ヶ所のみで帰ってしまう。

『各々強みを活かしたSTAY YOKOHAMA施策』

- ✓横浜スパークリングトワイライト（花火）
- ✓ヨルノヨ（イルミネーション）
- ✓横浜春節祭2025(観光閑散期1月~2月の対策)



Q:横浜都心臨海部は、移動しやすい街だと思いますか？(N=230)



移動しずらさを解消することで
回遊性が高まるのではないかな

2. グリーン・マルチモビリティハブステーション・みなとみらい

(1) 実施場所

横浜みなとみらい2 1地区のLIVINGTOWN みなとみらい



(2) 地理的特徴とモビリティ

モビリティハブのターゲットニーズに合わせたモビリティを選定

- 実証実験地の地理的特徴
- 近隣に神奈川県立みなとみらいキャンパスが立地→大学生
- 近隣にスタンディングライブ会場「ZeppYOKOHAMA」→若者
- 近隣にライブ会場「ぴあアリーナMM」→若者~50代までの来街者
- 隣接地にウェスティンホテル→ホテル宿泊者・インバウンド
- LIVINGTOWNみなとみらいにペーカリーカフェ→30代~50代女性

モビリティサービス	車種	ターゲット層	特徴
トヨタシェア	カーシェア	ホテル宿泊者・家族連れ	1~5名までの車種用意
e-シェアモビ	カーシェア	ホテル宿泊者・家族連れ	1~5名までの車種用意
ドコモ・バイクシェア	シェアサイクル	女性・通勤者	キックボードが怖い方
LUUP	シェアサイクル	東京から来た若者	キックボードが怖い方
LUUP	電動キックボード	東京から来た若者	
eBoard	電動キックボード	若者・インバウンド	WEBサービス
C+walkT	歩行領域EV	家族連れ	免許不要

(3) ステーション全体図



(4) 実際の写真



3. 移動情報の発信機能



イベントチラシや観光MAPを設置

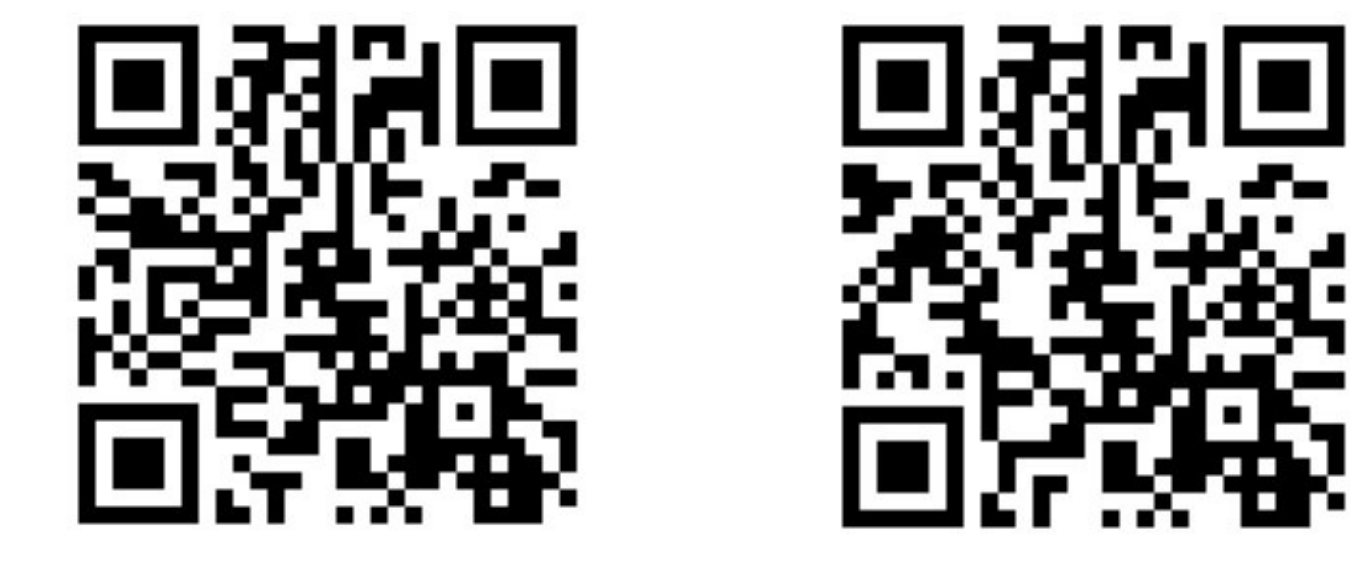
トレーラーハウス内に観光案内MAPを掲示
パーソナルモビリティのポートを色別で明示

- : YOKOHAMA BAY SCOOTER
- : LUUP
- : baybike

利用された方の目的地に適したモビリティのご提案

4. WEBページでモビリティサービスを集約

【実証実験概要】 【お客様向け】



対象期間：2024年12月1日~2025年3月31日	掲載基準：遷移数10以上	モビリティサービス遷移
スタートページ	PV数	遷移先
実証実験概要ページ	1,516	お客様向けモビリティサービスページ 988
		実証実験概要ページ 82
		アットヨコハマTOPページ 73
お客様向けモビリティサービスページ	1,988	お客様向けモビリティサービスページ 1,252
		実証実験概要ページ 274
		e-シェアモビ 98
		トヨタシェア 83
		LUUP 82
		eBoard 60
		baybike 45
		アットヨコハマTOPページ 51

368回

6. 定量分析（簡易版）

	合計		
モビリティサービス	出発回数	到着回数	平均利用時間(分)
シェアモビリティ①	1169	1245	23.2
シェアモビリティ②	412	428	15.6
シェアモビリティ③	9	4	122.8
C+walk	15	0	30.0
カーシェア①	35	0	113.4
カーシェア②	15	0	178.8

サービス間格差はあったものの、モビリティ利用者は1日あたり35名強であった。

Q:移動が面倒だと感じたときに、グリーン・マルチモビリティハブステーションのように、様々なモビリティが集約している拠点があれば、モビリティを使おうと思いますか？

項目	全体		横浜市内		横浜市内外	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合
使うと思う	37	22.6%	15	15.5%	22	32.8%
たぶん使うと思う	89	54.3%	56	57.7%	33	49.3%
おそらく使わないと思う	34	20.7%	22	22.7%	12	17.9%
使わないと思う	4	2.4%	4	4.1%	0	0.0%
合計	164		97		67	

7. 振り返り・学び(抜粋)

【事業性】

「土地代」「滞留施設」「EV充電設備」「人件費」を企業で持ち出す場合、モビリティ機能だけでは事業性が厳しい

▶特に「滞留施設」は滞留する理由がない限り、効果は限定的である

【移動の目的訴求】

今回の実証実験において、屋外に案内板を設置できず、移動する目的を通行人に訴求できず、思っていた回遊性向上が叶わず

▶デジタルサイネージ等を導入し、移動する目的づくり機能が必要である

【多拠点展開・広域展開】

1ヶ所ではなく、多拠点（広域）展開でなければ、効果が限定的である

【大規模輸送手段との交通結節機能】

大規模輸送手段との交通結節地でなければ、効果が限定的である

モビリティハブ事業に興味・関心をお持ちの方は、お気軽に下記までご連絡ください

連絡先：磯江 諒亮 E-mail：r.isoe@at-yokohama.co.jp もしくは 問い合わせE-mail：info@at-yokohama.co.jp